



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第24号（令和4年11月17日）

キャリア教育

立志教育～志とは心が指す方向を定めること～①

11月15日（火）、キャリア教育の一環として、NPO法人 岡山立志教育支援プロジェクト認定講師の白重俊介さんに6年生を対象に、立志教育の授業をしていただきました。

この授業で、6年生一人一人が「**自分の志＝心が指す方向（なりたい自分）**」を考えました。

授業の中で、白重さんの言葉から



「みなさん一人一人が自分の【**人生経営の社長**】です。社長の条件は、①変えられる未来を見る人 ②もっとよくなる未来を考える人 ③その未来を形にしていける人です。自分の人生、自分の未来をイメージしよう。」

自分の人生を自分で描けるようにしよう。 人生経営の社長就任は10歳から。

得意なことや好きなことを伸ばして、それが仕事になれば素敵。それで社会に貢献しよう。

得意なことや好きなことを組み合わせて、なりたい職業について考えよう。

など6年生が自分の将来のことを考えられるヒントをたくさんいただきました。

その後、クラスメイトやお家の方に書いてもらった「自分の長所」「得意なこと」を見ながら、それぞれ「自分は何に向いているのだろうか？」と考える時間がありました。白重さんに促されて、数人が発表しました。発表を聞いて「しっかり考えているなあ」と感動しました。

今回の授業をもとに、11月25日の授業では、自分の考えをもっと深めるようになると聞いています。一人一人が“**どんな未来を描くのか？**”が楽しみです。



私の立志

今から40数年前。私が中学1年生の時に「将来、どんな職業に就きたいか」ということを書くように担任の先生に言われました。私は迷わず「**工員**」と書きました。（当時、その職業を工員と言うのかどうかは分かりませんでしたが、イメージしたのは自動車の生産ラインで働き、車を組み立てる仕事です）なぜなら私は**ものづくりが好き**で、**自分では得意**だと思っていました。そして**カッコいい自動車を作って、世の中の人に乘ってもらいたい**とも思っていました。だから「**工員**」でした。当時、スーパーカーブームで、フェラーリやランボルギーニ、ポルシェなどのカッコいい自動車にあこがれていたのも理由の1つでした。

今から思えば、中学1年生の時に描いたことが「**当たらずとも遠からず**」だったと思っています。「工員」にはならなかったけれど、校長になるまでの31年間、私は「**中学校の技術の教員**」でした。（技術は小学校にはない教科なのでわかりにくいですが、木材や金属などでもものをつくったり、電気やエネルギーの勉強をしたり、生き物を育てたり、パソコンの勉強をしたりする教科です。小学校の図画工作科や理科、総合や情報などが関連するところだと思います。）

31年間の授業の中で、その時々生徒達に「一所懸命つくって、長く使おう」と言ってきました。**自分のつくったものが生活に役立つ…私が思っていた「工員」につながるところかなと思っています。**（家庭訪問などに行くと、生徒がつくったものが使われているご家庭がいくつもあり、嬉しかった記憶があります。）そして時々生徒達は、自分が考えたこと（設計）が形になるように、汗を流して切ったり削ったり、くっつけたり、使いやすいように工夫したりと、ものづくりの楽しさやおもしろさ、また難しさを感じていたと思います。

私は今も休日はものづくり（DIY）をしています。プロ（工員）のような作品はできませんが、それなりに味のある作品となり、完成したときには充実感をもってしています。

薬はコップ1杯の水で飲みましょ～薬物乱用防止教室～

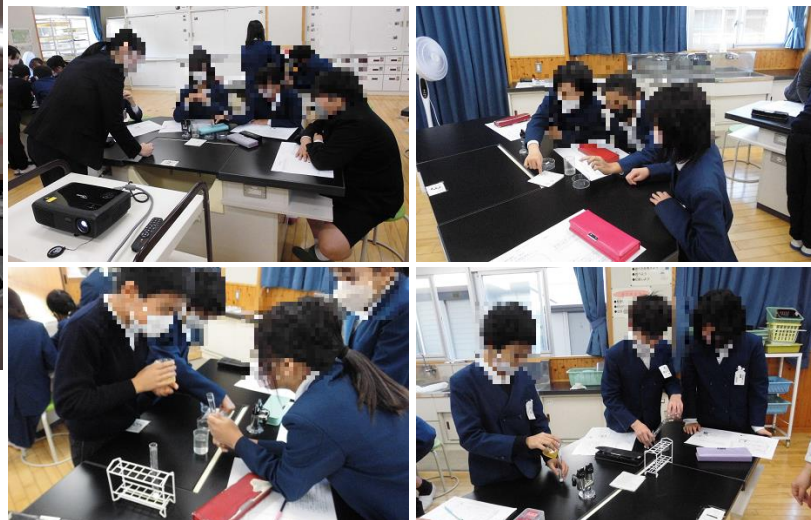
11月15日（火）の5・6校時に5・6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。講師は本校学校薬剤師の池田澄子先生です。先生から、医薬品の上手な使い方や薬の正しい飲み方を実験やディスカッションを通して教えていただきました。



全部のグループを撮れなかったけれど、どのグループも真剣に取り組んでいました。

薬の正しい扱い方が私も分かり勉強になりました。

実験…なぜコップ1杯の水で飲まなければいけないのか



実験…なぜジュースで薬を飲んではいけないのか

児童朝会での話



体は食べるものでつくられる
心は聞いた言葉でつくられる
未来は話した言葉でつくられる

5年生の教室に、それぞれの人が見つけた【自分が大切にしたい言葉、こんな自分になりたいという言葉】が貼られています。それを見て【なるほどなあ】【良い言葉だなあ】と思っています。

私からもみなさんに“こんな気持ちで過ごして欲しい”という言葉話をします。それが上に書いてある言葉です。この言葉は、火曜日の9時から放送されている「開運！なんでも鑑定団」の鑑定士でおもちゃコレクターの北原照久さんの言葉です。

【体は食べるものでつくられる】

みなさんもよく分かると思いますが、ごはんやおかずなどから栄養をとることで、体が大きくなったり、体力がついたりします。

【心は聞いた言葉でつくられる】

先生やお家の人、地域の人たちからいろいろな言葉を聞いて、「よしがんばってみよう」という気持ちや周りの人への思いやりなどの気持ちをもつことができます。5年生の「自分が大切にしたい言葉」もこれにあたりますね。

【未来は話した言葉でつくられる】

誰でも思い通りにならなかつたらいらいらしたり、不安になったりすることはあります。そんな人は自分の心にため込むことなく、誰かに聴いてもらえたら気持ちが軽くなりますよね。そんな人はぜひ実践してみましょう。

ただ、いつも「やりたくない」「めんどくさい」「いやだ」「腹が立つ」というようなことばかりを言っている人がいたら、考えてみましょう。自分から出た言葉がいつも不平不満だったら…未来が明るくなることはないよね。

5年生が見つけた言葉

